

## I 教育委員会の事務点検・評価制度の概要（報告書 P1・2）

- 1 対象年度 令和3年度
- 2 法令上の根拠 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条
- 3 評価方法 教育委員会の権限に属する事項について、教育委員会が自らの事務の適切な執行について確認するとともに、点検・評価を行うに当たり、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図っている。

※評価委員 学校教育分野：小橋 暁子（こばし さとこ）氏

千葉大学教育学部准教授 専門：造形教育学

生涯学習分野：岩崎 久美子（いわさき くみこ）氏

放送大学教授（前国立教育政策研究所総括研究官） 専門：生涯学習政策

- 4 重点的に評価する事業等【令和3年度の新規・拡充事業等】※（ ）は評価委員が視察・ヒアリング

学校教育分野・ICT支援員配置（千葉市立椿森中学校）

・オリンピック・パラリンピック教育の推進（千葉市立金沢小学校）

生涯学習分野・電子書籍の導入（千葉市中央図書館）

・公民館の管理運営（千葉市小中台公民館）

## II 教育委員会の活動状況（報告書 P3・4）

- 1 教育委員会会議を14回開催し、52件の議決を行った。
- 2 各種イベントや研修会、会議等に出席したほか、ホームページや教育だよりを活用した広報活動や教員を目指す大学生との意見交換などを実施した。

## III 点検・評価の結果（報告書 P5～P105）

### 1 教育委員会による自己評価

学校教育分野は「第2次千葉市学校教育推進計画」に、生涯学習分野は「第5次千葉市生涯学習推進計画」にそれぞれ基づき、各施策を実施しているため、両計画の進捗状況を評価することにより、点検・評価を行った。また、令和3年度の新規・拡充事業のうち4つの事業について、重点的に評価を行った。

#### (1) 全体の評価について

		成果指標			アクションプラン			
		○	×	－	順調	遅れ	休止	
学校教育分野	54	4	22	28	108	94	13	1
生涯学習分野	10	3	7	0	66	47	17	2

区分	成果指標	アクションプラン
○	最終目標値（R3目標値）以上であるもの	順調 最終目標（R3目標）以上のもの
×	最終目標値（R3目標値）未満であるもの	遅れ 進捗状況に遅れが出ているもの
－	達成率で評価しない（できない）もの	休止 事業を休止したもの

昨年度と同様、アクションプランの進捗状況は「順調」の項目が多い一方で、成果指標の達成状況は「○」の項目は少なく、実施している取組が成果として表れていない傾向が見られる。成果指標の妥当性、成果指標とアクションプランとの整合性を見直すとともに、より効果の高い事業を実施する必要がある。

#### (2) 重点的に評価する事業等について

##### ア ICT支援員配置（報告書 P9・10）

GIGAスクール構想初年度となるため、市立小・中・特別支援学校の全165校にICT支援員を配置し、1人1台端末「ギガタブ」の操作や運用等に係る支援を実施した。これにより、児童生徒の学習意欲と学力の向上につながった。また、教職員においては、新しいICT機器やソフトウェアなどの操作能力やメディアリテラシーが向上した。

##### イ オリンピック・パラリンピック教育の推進（報告書 P18・20）

すべての小中学校において、体育・保健体育の年間指導計画にパラスポーツを位置付けた。中学校1校において新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施できなかったものの、1校を除く161校にて授業でパラスポーツを実施した。また、学校連携観戦プログラムにより、幕張メッセで行われた東京パラリンピック競技大会を55校1,928人の児童生徒が観戦した。

##### ウ 電子書籍の導入（報告書 P72・73）

図書館サービスの更なる利便性向上と「Withコロナ」の時代における新しい生活様式に対応するため、8,866冊の図書について電子書籍サービスを導入し、令和3年度は12,518件の貸出実績があった。いつでもどこにいても、インターネットを通じて電子書籍を検索し、借りることができ、また、文字の拡大や読み上げ機能など、電子書籍特有の機能による新しいサービスを実現した。

##### エ 公民館の管理運営（報告書 P72・73・74・75）

公民館では、Wi-Fi利用可能エリアを拡大し、すべての諸室やロビーで利用できるよう整備するとともに、コロナ禍でも市民への学習機会を継続して提供するため、一部の講座ではオンライン受講やサテライト会場を設けるなどの方法で実施した。また、職員の専門性を向上することにより、社会教育活動を活発化するため、公民館職員の社会教育主事資格取得を進めたこと等により、令和3年度中に資格取得者が6人増加した。

## 2 評価委員による評価

### 小橋委員の意見（報告書 P97～98）

#### 全体について（総括的所見）

- ・前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響の中での教育活動となった。どの学校も手探りの中、あるいは一つ一つその都度考え、対応しながら児童生徒の学びの継続を模索してきたところではないだろうか。
- ・社会の状況が目まぐるしく変わり、計画当初では想定をしていないことも起きている。各指標を無理に到達させるのではなく、項目によっては違う道筋を検討し直す、あるいは成果を直ぐに求めずに時間をかけていく、整理をしていく等、児童生徒や教員や地域の状況をふまえて、内容によっては計画の練り直しも含めていくことが肝要である。

#### ICT支援員配置について

- ・令和3年度の支援員配置増員は、教員が具体的な指導内容をもとにした相談がしやすくなり、ギガタブの操作方法だけでなく、より具体的な活用や共同での教材開発などを行うことができる等の利点があることが分かった。
- ・ギガタブは学校へ導入されたばかりであり、その課題も実践が増えるに従いこれから見えてくる。令和3年度の支援員増員により、少しずつ操作が分かり、何が出来そうか見えてきたことを実現させていくために、今後もICT支援員配置を含め、学校のニーズを踏まえた支援体制を継続していく必要があるのではないだろうか。
- ・各校で支援員と教員の共同で作成したギガタブの教材は、それぞれにあるようだ。各授業者が必要性を感じた際に他の学校で作成したものを使うことができたりすると、より活用も進むであろう。

#### オリンピック・パラリンピック教育の推進について

- ・数年に渡る事業の立案、様々なアプローチの教材開発や研修企画、用具の配置や貸し出しや整備まで周到に準備され実施されてきたことを確認した。特にパラスポーツを軸とした教育活動は、体育の授業だけではなく福祉や多様性理解教育との関連、教科横断型等での学びの可能性も見られた。
- ・東京オリンピック・パラリンピック終了後に継続をしていくならば、何を大事にして、そのために何を継続するのかを考えることが重要である。例えば単にパラスポーツを児童生徒にさせることだけが目的とならないよう、時を経てそのスポーツを「通した」学びは何か、どのような教育課題を設定できるかを考えていく必要がある。

### 岩崎委員の意見（報告書 P99～101）

#### 全体について（総括的所見）

- ・生涯学習関連事業全体としては、市民の生涯学習振興のために、時代の変化を勘案した事業立案やコロナ禍などの予測できない事態への迅速な対応など、積極的施策を行っている。
- ・千葉市は、生涯学習施設が計画的に整備されており、市民に対し豊かな学習環境を提供している。生涯学習環境の整備は、市民の民度や地域で暮らす満足度を高め、ひいては豊かな地域基盤を形成することにつながるものである。今後も見識を持って継続・維持し、さらに振興するため、市全体として生涯学習関連事業を積極的に検討してほしい。

#### 電子書籍の導入について

- ・電子書籍は、インターネットを介し、いつでもどこでも書籍にアクセスできる。このことは、時間や場所の制約から解放されることを意味し、図書館利用者の拡大に寄与することであろう。千葉市図書館を経由し、デジタル教材が活用できる環境が整備され、学校教育や生涯学習センターの講習などにも活用されることが期待される。
- ・利用者を年代、性別、職業などの属性ごとに把握し、その特徴に応じて利用案内を戦略的に行うことが重要である。
- ・市民の多くが電子書籍にアクセスできるよう、その利用の仕方の啓発・普及が求められる。公民館図書室を含むすべての担当者が現場で電子書籍へのアクセス方法を市民に伝えられる知識を有することが望ましい。

#### 公民館の管理運営について

- ・公民館は、地域に密着した施設である。そのため、市民にとって家庭、職場に加わる第三の場として居心地の良い空間が望まれる。訪問した小中台公民館は、温かみを感じ気持ちや和む空間となっている。すべての公民館で行われるよう公民館全体を通じた仕組みづくりが重要である。
- ・企業などとの連携により、市民の関心を引く講座を企画している。デジタルスキルに関する講習については、成人、高齢者と年齢層を分け、その特徴に応じた講座企画を行っていることは評価できる。
- ・指定管理者制度の導入による予算の効率化により、老朽化した施設の修繕、備品の交換などの学習環境の整備を行っており、画期的である。

### 評価委員の意見に対する対応（報告書 P102～105）

これまでの事務点検・評価において評価委員よりいただいた意見に対する対応状況は右表のとおりです。すべての意見に対し、適切に対応しています。

説明	項目数
意見に対する取組みを実施しているもの。	9
意見に対する取組みについて検討しているもの。	0
未対応のもの。	0